

## お申込み方法

### ○お申込み期間

会 員:2025年9月25日(木) ～ 11月9日(日)

非会員:2025年10月9日(木) ～ 11月9日(日)

### ○お申込み方法

右上の二次元コードを読み取って、申込フォームからお申し込みください。

URL <https://forms.gle/YEGqr8FX1Z62S4219>

※申込フォームから申し込みができない方は、下記お問い合わせ先にご連絡ください。

●参加費 会員 2,000円／非会員 2,200円

●8日(月) 昼食お弁当 500円 ※ご希望の方に8日(月)の昼食お弁当をご用意します。  
福島支部会員一推しのお弁当(ゆず味噌おにぎり1個、おかず、お茶)です。

●夕食・交流・お楽しみ会 2,000円 ※福島の食材や郷土料理を盛り込んだお弁当 ほか

●二次会 実費2,000～3,000円程度(先着15名程度)

※福島市名物円盤餃子 ※当日現金で集金

●浜通り図書館見学会(12月9日(火)開催) 7,000円 (定員先着27名)

### ○お支払い方法

申込フォームでのお申し込みを確認後、1週間以内に振込先の案内メールをお送りします。メール受信後、1週間以内に参加費をお振り込みください。入金確認をもって申込手続きを完了とします。

※振込先案内メールは下記お問い合わせ先のメールアドレスより届きます。迷惑メールに振り分けられないよう、受信設定をお願いします。

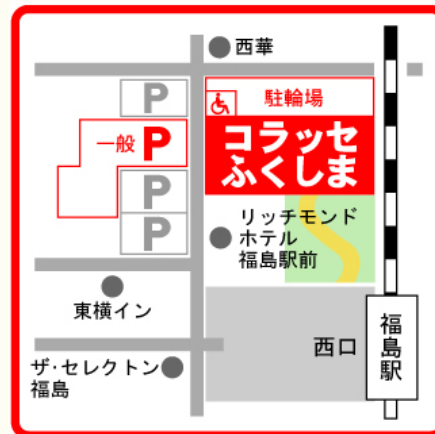
※申込フォームからお申し込み後、1週間以内に振込先案内メールが届かない場合は下記お問い合わせ先までご連絡ください。

## 会場周辺図

### ○宿泊について

必要な方は各自でご予約をお願いします。

コラッセふくしま  
福島県福島市三河南町1番20号  
(JR福島駅 西口より徒歩3分)  
TEL 024-525-4089



お問い合わせ先 児童図書館研究会福島支部 福島学習会実行委員会  
メール [j.fukushima2025@gmail.com](mailto:j.fukushima2025@gmail.com)

2025年度 児童図書館研究会全国学習会 福島学習会

## 子どもたちに本の世界を 活動から学ぶ

日にち 2025年12月8日(月) 定員 160名

※今年度は1日のみ開催です。翌9日(火)に希望者に図書館見学会を開催します。

会 場 コラッセふくしま 福島県福島市三河南町1番20号  
(JR福島駅 西口より徒歩3分)

参加費 会員 2,000円／非会員 2,200円

基調講演 「藤田浩子さんの話」 藤田浩子さん 「草谷桂子さんの話」 草谷桂子さん  
第1分科会 「おはなして遊ぶ」  
第2分科会 「絵本で伝える”平和”」  
第3分科会 「ちいさな悲しみや傷つきに立ちあう～ものがたりワークの実践から～」  
第4分科会 「すべての子どもたちが本を楽しめるように！」

### 日程

9:30～	10:10～ 10:20	10:20～ 12:30	12:30～ 13:30	13:30～ 16:00	16:10～ 16:50	17:30～ 19:40	20:00～
受付	全体会 開会式	基調講演	休憩	分科会	全体会 閉会式	夕食・交流 会・お楽し み会	二次会

夕食・交流会・お楽しみ会 2,000円 (要申込)

8日(月) 17:30 ～ 19:40 (会場:学習会会場に同じ)

※二次会は福島市名物の  
円盤餃子屋さんに行く  
予定です。(要申込・先着  
15名程度)

浜通り図書館見学会 12月9日(火) 7,000円 中型バス (定員先着27名)

福島県沿岸部(浜通り)の図書館等を見学します。

★福島駅出発(8:00) 解散は福島駅(17:00予定)

あの東日本大震災から来年3月で15年になります。この節目の時に、福島の復興の歩みをご覧  
いただきたいと思います。

主催:児童図書館研究会福島支部 福島学習会実行委員会  
後援:福島県 福島県教育委員会 福島市教育委員会 福島民報社 福島民友新聞社

## 基調講演

### 「藤田浩子さんの話」

藤田 浩子さん

### 「草谷桂子さんの話」

草谷 桂子さん

まだ日本に公共図書館が少なかった頃に、自宅を「文庫」という小さな図書館として開放し、子どもたちに本を手渡していたおかあさんたちがいました。その活動で図書館が必要だと示し、各地に公共図書館をつくる追い風になりました。

福島には、かつてたくさんの文庫がありました。その中のひとつ、ちゅうりっぷ文庫で子どもたちに本を手渡していたのが藤田浩子さんです。藤田さんは現在も、子どもたちに昔話を語り、一緒に遊び、お話の楽しさを伝えています。

同じ頃、静岡では草谷桂子さんがトモエ文庫を開きました。草谷さんは、子どもたちに本を手渡しながら、童話をつむぎ、公共図書館を応援する活動を続けています。

子どもたちに本と出会ってほしい、本の世界を届けたいと願い、活動されてきたお二人に、子どもたちのこと、本のこと、文庫のことなど、長年の活動について、伝えていただきます。

#### 藤田浩子さんプロフィール

東京都生まれ。戦時中、福島県三春町に疎開し、昔話を聞いて育つ。幼稚園など幼児教育にたずさわって60年。短大・専門学校の幼児教育科講師。全国各地で、わらべうたあそびを伝えたり、子育て講習会を行っている。著書は『おはなしおばさんの小道具』『藤田浩子の紙とえんぴつでおはなし』（一声社）、『藤田浩子の絵本は育児書』（アイ企画）、『かたれやまんば』ほか多数。

#### 草谷桂子さんプロフィール

静岡県生まれ。家庭文庫「トモエ文庫」を主宰して44年。日本児童文学者協会、童話創作グループ「かしの木」所属。著書は『白いブラウスの秘密』（偕成社）、『さびしい時間のとなり』（ポプラ社）、『3・11を心に刻むブックガイド』『図書館につづく道』『あいうえあそぼうとしゃかんで』『レインボーブックガイド』『戦争と平和 子どもと読みたい絵本ガイド』（子どもの未来社）ほか多数。

## 2日目 浜通り図書館見学会 定員先着27名 7,000円

(バス代・保険料・昼食代等)

12月9日(火) 福島駅西口集合(7:50)  
福島駅出発(8:00) 解散は福島駅(17:00予定)

福島県沿岸部(浜通り)の市・町にある図書館等を見学します。

【見学先】 ① 富岡町図書館 ② とみおかアーカイブ・ミュージアム  
③ 大熊町立学び舎ゆめの森 図書ひろば ④ 南相馬市立中央図書館

※見学会のみの申し込みはできません。

※解散時間は目安です。お帰りの公共交通機関は余裕をもった時間でご予約ください。

※ご予約は個人ごとに先着順です。お連れ様と一緒にのご予約はできません。複数名で参加されたい場合は、個人ごとにお早めにお申し込みください。

#### ○昼食について

浅野燃糸フタバスーパーゼロミル(双葉町)内のカフェ(Key's Cafe)を予定しています。

## 分科会

分科会は第二希望まで選択してお申し込みください。先着順に割り振ります。第二希望になった方にのみ、学習会1週間前までにメールでご連絡します。

### 第1分科会 「おはなしで遊ぶ」

講師 藤田 浩子 さん 定員 40名

子どもたちは「おはなし」が大好きです。子どもたちのように「おはなしで遊ぶ」ことから「語り」や「わらべうた」をはじめませんか？ 第1分科会では、藤田浩子さんの語りで、「おはなし」の世界にひたり、「わらべうた」や「遊ぶうた」で一緒に遊ぶ体験をします。おはなしで遊ぶための小道具については、作り方も教えていただけるかもしれません。藤田さんの実践から、子どもたちに語ること、子どもたちと遊ぶこと、そして子どもたちと笑い、一緒に楽しむことの大切さを学びましょう。

### 第2分科会 「絵本で伝える”平和”」

講師 草谷 桂子 さん 定員 40名

「戦争」や「平和」について子どもに問われたら、どの本を手わたしますか？ 第2分科会では、『戦争と平和 子どもと読みたい絵本ガイド』（子どもの未来社）の著者である草谷桂子さんに、「平和」がテーマの絵本の紹介をしていただきます。小さな子どもたちにはユーモアや柔らかな目線で戦争の虚しさ、愚かさを伝える絵本を、客観的に物事が見られるようになった学齢の子どもたちには「戦争と平和」にさまざまな思いを重ねられる絵本を少しずつ。子どもに手わたしたい絵本を一緒に考えましょう。

### 第3分科会 「ちいさな悲しみや傷つきに 立ちあう～ものがたりワークの実践から～」

講師 村中 李衣 さん 定員 40名

第3分科会ではさまざまな人と絵本の読みあいを重ねて来られた児童文学作家 村中李衣さんに、「傷つきを抱えた子どもたちとの読みあいから、明日を紡ぐ試み」と題して、物語を介したさまざまなケアの可能性について、実践例を通してお話していただきます。

分科会の中で実際に小さなワークを行いますので、参加希望者は色鉛筆(12色程度)をご持参ください。村中李衣さんは数々の児童文学に加えて『保育をゆたかに絵本でコミュニケーション』『女性受刑者とわが子をつなぐ絵本の読みあい』(かもがわ出版)などの著書を執筆されています。

### 第4分科会 「すべての子どもたちが 本を楽しめるように！」

講師 山内 薫 さん 定員 40名

さまざまな障がいや「読む」ことが困難な子どもたちがいます。「読む」ことが難しい子どもたちが本の世界を楽しむことができるようにするには、どうしたらよいのでしょうか？ 第4分科会では、長年さまざまな子どもたちに、読書の楽しさをとどけてきた山内薫さんに、点訳絵本、拡大写本、LLブック、録音図書、マルチメディアDAISYなど、子どもたちひとりひとりが利用しやすい資料や、お話の世界を楽しむ方法を教えていただきます。山内薫さんの著書には、『本と人をつなぐ図書館員 障害のある人、赤ちゃんから高齢者まで』（読書工房）などがあります。